

	子どもの声・姿・意識	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・技能◎思考・判断・表現●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]
一学期	「なにができる？」(7)			○自分たちと社会との関わりや地域に出かけることを通して、地域にはすてきな場所があり、そこにはすてきな人がいることを知り、そのよさを理解している。 <③課題対応能力> [①課題を見出し、把握している]
	<ul style="list-style-type: none"> 協力できた！保護者に感謝してもらえた！積極的に動くことができた！作ったものを実現できた！ 最後までできなかった。目標こたどりつけなかった。もっと広めたかった。相手のことを考えられなかった。 家族に感謝を伝えたい！・伝統を生かしたい！・関わる人を明るくしたい！子どもだけでやりたい！・環境をよくしたい！米の活動を続けたい・学校や地域の人々を呼びたい どんな遊具があるだろう・どんな遊具だと喜んでくれるかなあ。・材料は何か必要だろう？・作る専門家にコツを教えてくださいなあ。・公園でみんなでどんなことをしたいかなあ？ 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の振り返りをする。 ○「社会とわたし」というテーマを考える。 ・誰か知らない大人がやっていること・下級生に対して学校のリーダーとして関わっている ・保護者との関係もそのひとつ・友達と遊ぶこと ○私たちに何ができるかを考える(目標の設定)。 ○私たちにできることをもとに、材(公園)を使ってやってみたいことを考える。 ○調べたことをまとめ、テーマを見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> より具体的に思い出せるように、元のクラスで分かれて昨年度の学習で生かしたい点と課題点を挙げるようにする。 ・共に楽しむ仲間の一人であることを念頭に、児童と同じ目線で取り組み続ける。 	
二学期	「やりたいことをやってみよう！」(27)			○自分たちの経験を発表することを通して、相手や目的に応じた話し方を理解し、自分の思いを伝えている。 <①人間関係形成・社会形成能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる]
	<ul style="list-style-type: none"> 公園のことを、管理する人に聞いてみたい。 遊具を作って、みんなで遊ばないだろうか。 もっと明るい公園になれば、人が集まるんじゃないかな。 景観を良くするために、植物の手入れをしたらどうだろう。 どんな人が公園に関わっているのかな。 これまで総合の学習の経験を生かせないだろうか。 自分が得意なことを生かしたい。 地域の人たちが喜ぶことって何だろう。 自分たちの地域の魅力を発信しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○公園の現状を調べる。 ○公園の管理事務局の方にインタビューしたり、自分たちの考えを提案したりする。 ○地域の人により良く公園を使ってもらおう工夫を考えるなど、相手意識をもって活動する。 ○様々な植物の種まきや開花の時期を調べ、適切な植物を選んで育てる。 ○木材を使って、遊具やベンチを作る。 ○植物の手入れをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の活動を振り返り、効率よく素早く準備できるよう環境を整える。 ・公園の管理事務局の方と関わりをもっておく。 ・安全管理を徹底して行う。児童もその意識を強くもつよう促す。 ・製作活動など、児童がやってみたいと思ったことに挑戦する機会を設ける。 	
各教科との結びつき 国語:インタビューの仕方・社会:暮らしを支える政治・算数:拡大図と縮図、比・理科:植物の成長、てこのはたらき、地球環境・道徳:随時・図画工作:木と金属				
三学期	「残せるものを考えよう！」(18)			○自分たちの経験を発表することを通して、相手や目的に応じた話し方を理解し、自分の思いを伝えている。 <①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる]
	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが作ったものを多くの人と楽しみたい。 これまでに関わってくれた人に感謝を伝えたい。 自分たちの経験を発表したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発信方法、発信内容を考える ○考えた発信方法・内容が適切かどうか再考する。発表内容を見直す。 ○学年で、お互いのまとめたものについて紹介し合う。 ○発信内容を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に何を伝えたいのか、私たちはどうしたいのかという視点をもとに互いの情報を交換し合い、次回の活動に生かせるようにする。 	

材(公園、ものづくり)のもつ価値

- ・公園は児童にとって身近なものであり、地域とのつながりを感じることができる。
- ・様々なひと、もの、ことを想起しやすく、活動に広がりをもてる。
- ・遊具やベンチの材料となる木材は、生活の中でそのぬくもりやよさを感じられる身近な材であり、図画工作科や家庭生活の中で加工した経験があり、自由な発想を引き出しやすい。
- ・5年時に動くガンダムを見学し、プラモデルの組み立て経験が全員にあることから、遊具やベンチなど建築物の構造や仕組みを考えながら制作に挑むことができる。
- ・社会に自ら関わることで、自分たちの地域の魅力に気付くことができる。また、その一員である自覚をもつことができる。

材(公園、ものづくり)に寄せる子どもたちの思いや願い

- ☆自分たちのイメージしたものが少しずつ形になっていくことの面白さや喜びを感じている。
- ☆自分たちが作ったものを学校や地域の人々にも楽しんでほしいと願っている。
- ☆遊び場を自らが作るという未知の活動を楽しみながら作りたいと考えている。
- ☆自分たちの地域のよさを再発見し、他の人にも気付いてほしいと願っている。
- ☆一つの目標に向かうことの成功体験が充実した学校生活につながると考えている。
- ★地域の人が喜ぶことを考え、自分たちの力でやり遂げたいと願っている。

★…子どもたちの深層にある求め(子どもたちが一番やりたいこと・願い)